

朝、眠い目をこすりながら上之郷中学校に向かうのもあと少し。3年生の皆さんにとって、小学校、中学校と一緒に過ごしてきた仲間と机を並べる授業も残りわずかとなりました。

うれしかったこと、悲しかったこと、頑張ったこと、悔しかったこと。たくさんの経験があって3年生の「今」があります。

ここでは、たくさんの思い出の中から一つを取り出してみました。手に取ると心があたたかくなる思い出は、3年生のこれからを支える、大きな力になるはずです。



## 特集2 みんなといわれたから、楽しかった

### 3年間で心に残ったことは？

修学旅行が中学校生活で最高の思い出になりました。

日帰りで時間が限られた中、班内で話し合い、時間一杯楽しめました。その中でも、みんなとアトラクションに乗れたのは、一番の思い出です。

笑い合い、絶叫し合ったりして、今までで一番楽しかったです。13人での最後の研修は、絶対に忘れることはありません。

井澤 煌生

スキー研修。

新型コロナウイルスの影響が少しずつ出始めていたあの時期に2泊3日をクラスのみなどと過ごせたことは今思えば奇跡だったと思います。

スキーは初めてでしたが他にも初めてスキーをやる人がいたので心強かったです。徐々に転ばずに滑れるようになり、難しいコースにも挑戦しました。

あれから1年が経ちましたが、もう一度行きたいと思うほどよい思い出です。

森田 啓太郎

中学校生活で一番心に残っていることは、クラスのみなどと3年間楽しんだことです。スキー研修や修学旅行などの行事は、みんなとめっちゃ楽しめました。学校での日常生活でも、休み時間に遊んだり、ふざけ合ったりして楽しめたからです。最高の仲間に出会えたと思います。

高校では、みんなばらばらになってしまいうけれど、中学校生活のように仲間を大切に楽しんでいきたいです。

山口 龍輝

2年生の中体連。自分は、先輩たちとプレーするバレーが好きで、最後の試合はとても悲しかったです。

当日、チーム全体がやる気に満ち、試合中はうるさいくらい声を出して精一杯楽しむことができました。

高校生になってもバレーは続けていくつもりなので、まずはチームの人と仲良くなり、チームでよい成績を出して行けるように頑張りたいです。

山田 将吾



僕は、この3年間で生徒会活動を特に頑張りました。

会長として動き出す前、コロナによる休校が続いていました。誰も話せなかったけど、生徒会内で連絡を取り合い、活動を決め動き出せました。

また、体育大会は競技を1から考えました。練習も本番も予定通りにはいかないことがあったけど、執行部を中心に自分たちで考え動けました。終わった後、みんなが楽しそうだったのでとても嬉しかったです。

山田 陽優

僕が3年間の中で一番思い出に残っている行事はスキー研修です。

コロナがはやる前に、クラスのみなどと楽しく乗鞍に行き、スキーをしたことはとてもいい思い出です。初めてするスキーは怖かったですが、徐々に慣れていき、最終日には山を滑りきることができました。

高校では仲間をつくったりして、高校生活を楽しくするようにたくさんの努力をしていきたいです。

吉野 想平

3年間たくさんの思い出ができました。その中でも体育大会が一番心に残っています。3年生が中心となって活動し、私は環境委員長として呼びかけをしながら自分の役割を果たしました。「阿吽の呼吸」では、練習で成功したことがなく不安でした。でも、本番では大成功で嬉しかったです。

高校生活も、自分の仕事に責任を持ち、勉強にもしっかり取り組み、自分の夢に近づけるように頑張ります。鷲見 彩羽

私は、スキー研修や部活動、体育大会などが心に残っています。

どの思い出もとても大切で、いろいろな人たちとかかわってきました。友達と楽しく話したり、はしゃいだりした思い出や苦しさや辛さを分かち合った経験もあります。

いろいろな思い出をつくることができた上之郷中学校の素敵な仲間や先生方に感謝してこれからの高校生活を楽しんでいきたいです。

立川 ななせ

コロナの影響の中の体育大会です。

学年大縄などでできなくなってしまった競技もありました。でも、みんなで新しい競技を考えるのも楽しかった思い出です。

また、体育大会を通して他学年の子と話して仲が深まりました。赤・白関係なく相手のチームを応援する姿が印象に残っています。

全校で楽しむことができた最高の体育大会でした。

丹羽 莉音

私の一番の思い出は体育大会です。3年生で企画し、つくり上げていったからこそ最高のものにすることができました。エール交換や応援歌など全校が盛り上がるように工夫しました。

この体育大会を通して学年だけでなく他学年との仲も深まり全校がさらに団結したように感じました。

中学校生活もあと少しなので全校・仲間とのつながりを大切に過ごしていきたいです。

日比野 華実

この中学校3年間でクラスの雰囲気が大きく変わったと思います。1・2年生の時と比べて、今は誰とでも接しやすく、たくさんの幸せを共有できていると思います。

何より、休み時間も給食の時間も授業の時間でさえ楽しいからです。

でも、こんな素敵な関係を築けたのは苦しい時も楽しい時もともに過ごしたからだと思います。卒業で離れてしまうけれど、こんなにも素敵な仲間と過ごすことができて心から幸せだと感じます。

平井 れのん

私が中学校生活で印象的だったことは、スキー研修です。2泊3日、みんなと一緒に過ごして、全員でかかわって遊んだり、声を掛け合っけてスキーをしたりと、とても楽しかったです。

その中でも、13人全員でのトランプや体育館でのバレーやバスケットをよく覚えています。

スキー研修を通して、よりクラスの仲が深まりました。

山田 優芽

3年生の体育大会。会を成功させるために学級で話し合いを行ったり、執行部で何度も打ち合わせを行ったりしました。

当日は、3年生が中心となって盛り上げ、一つ一つの競技を全力で楽しむことができました。

執行部として、3年生として工夫を凝らして準備から本気で行い、仲間と最高の思い出をつくることができました。

渡辺 真央

受け継ぐものは

# チャレンジし続ける姿と 仲のよさ

感動ある「引き継ぐ会」を目指し、実行委員を中心に奮闘中！（1・2年生）

今年の卒業証書授与式には、コロナのため在校生は参加できません。卒業生に在校生として思いを伝えられるのは「伝統を引き継ぐ会」だけ。だから、今までにないくらい感動のできる会を、先輩たちがしてきたように自分たちも新たに生み出してみようと1・2年生もチャレンジしています。



何だかうまくいかない…。  
やっぱり、先輩たちはすごかった！

3年生の先輩たちからは、いつも楽しさをもたらした。感動をもたらした。

だから、自分たちも先輩たちのように自分たちで新たなものを生み出し、みんなに喜びや感動を与えられるようになりたい…。

そんな願いのもと、動き出したのですが…。何だかうまくいかない。取組をしているものの、姿に変化があったような、ないような…。

体育大会結団式のように、リーダーが動いて、その後にみんなが続くことができない。これだけの人数なのに、みんなの心が一つにならない。やりながら、それぞれにいろいろな思いがあって、最適解や納得解を求めることって、本当に難しいことなのだってことが、ようやく今になってわかってきました。

だから、先輩たちのすごさを実感しました。

そして、やってみてすごくわかってきたことは、“仲のよさ”とは、ただ親しくかかわれる関係にあるだけではなく、互いに相手の思いを理解し、互いに納得しあえるものを見いだし、決定後は、「やりたくない」「参加したくない」などと思わず、自分の気持ちを少しだけ我慢して、みんなと一緒に動けることなのだってことでした。

先輩たちの背中を見ながら、先輩たちをまねてやってみながら、1・2年生がたどり着いた先輩たちから自分たちが受け継がなければならないものとは、「新たなものにチャレンジし続ける姿」と、「仲のよさ」でした。

3年生の皆さんの頑張ってきた足跡は、今、確実に引き継がれようとしています。

写真は、1・2年生合同集会の様子

# 「完遂」を目指し、最後のチャレンジ！（3年生）

「今年は、コロナのため今まで普通だったことが普通にできませんでした。でも、「だめだ」と簡単にあきらめてしまうのではなく、「どうしたらやれるのか。やれるものをつくり出せばいいじゃないか。」という点からスタートし、新しいものをゼロから自分たちで考え、ひとつひとつ生み出してきました。そして、その都度、笑顔と感動を全校に届けてきました。1・2年生の皆さんには、これからも全員でつくり出してほしいと思っています。」

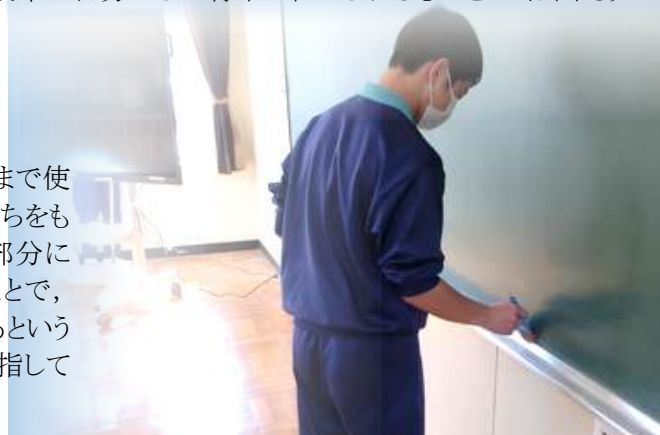
今、卒業を前に、学級目標である「完遂」を目指し、自分たちが後輩に自分たちの背中で伝えられるものをつくり出そうとしています。

## 「挨拶」と「掃除」を高める

3年生が考えたものは、「自分からする挨拶」、「廊下ですれ違ったときにする挨拶・会釈」、「1.5 か所掃除」

3年生の仲間だけではなく、後輩にも自分から声をかけたり、会釈をしたりして、相手も心地よくす

るような挨拶をすること。今まで使ってきた校舎に感謝の気持ちを持ち、普段やりきれなかった部分にまで時間一杯掃除をすることで、美しくするために掃除をするという気持ちをもつことの2点を目指して取り組んでいます。



日頃できない部分まで掃除する(黒板受けの上を掃除)

## 自分の言葉で「伝える」 今、1年生の授業が楽しい

「話す」だけではいけない。手元にメモはあるが、自分でつくった新聞を指し示し、自分の言葉で聞き手の反応を確かめながら「伝える」ことができなければ。

1年生では、説得力ある発信を目指し、総合的な学習の時間を中心にして取り組んできました。

こうした取組を通して、どの授業でもとても活発に自分の意見が言えるようになってくると同時に、授業における笑顔がいっぱい見られるようになってきました。

もしかすると、今、1年生の授業がどの学級よりも楽しい授業なのかも？

## ほぼ本年度の履修を完了(3年生)

	1 年生			2 年生			3 年生		
	標準時数	現在の時数	残り必要時数	標準時数	現在の時数	残り必要時数	標準時数	現在の時数	残り必要時数
国語	140	134	0(6)	140	137	0(3)	105	103	0(2)
社会	105	101	4	105	103	13	140	136	2(2)
数学	140	135	12	105	104	15	140	136	0(4)
理科	105	102	8	140	135	7	140	138	0(2)
音楽	45	44	2	35	36	2	35	35	1
美術	45	44	2	35	34	2	35	34	2
体育	105	98	0(7)	105	95	0(6)	105	100	0(3)
技家	70	64	3(3)	70	64	3(3)	35	35	1
英語	140	136	12	140	135	4(1)	140	135	0(5)

### 【この表で用いた数値について】

標準時数：学習指導要領で示されている年間授業時数

現在の時数：2月末現在の授業時数 標準時数を上回っても履修内容が残っている教科があるのは、5・6月の未履修部分の時間数を含んでいるため

残り必要時数：履修内容を終えるため、今後最低必要と考えられる授業時数

ここに0と記載されている教科は、現段階で内容が終わっている教科

( )内の数は、標準時数を超えるために3月に最低行う授業時数

表は、2月末日現在における授業時間数を示しています。

残り必要時数欄に0と記載されている教科は、すでに学習内容を終えている教科です。ただし、本年度は、やや授業の進度を上げて履修したため、標準時数に満たなくても終わってしまった教科もあります。

その場合、3月に( )内の時数を優先的に入れ、確実に時数的に

も、学習内容的にも今年度中に終わらせるようにします。

3月の授業コマ数は、1・2年生が、92時間。3年生が、36時間です。残り必要時数の合計が、1年・2年生ともに59時間。3年生24時間ですから、コロナによる臨時休業が入らない限り、余裕をもって今年度中に学習内容を終えることができる見込みです。



総合的な学習の時間 発表会の様子(1年生)